



Q-7 仕事のコントロール度が高い※と良いことがあるのか？

※ 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できたり、自分のペースで仕事を行うことができる

A-7 Yes 仕事のコントロール度が高いと営業成績も良い傾向がみられる

仕事のコントロール度が個人および組織にどのような影響を与えるか、ストレスチェック（職業性ストレス簡易調査票）の「仕事のコントロール度」の集団分析スコアを用いて確認してみました。ストレスチェックの「仕事のコントロール度」は、「自分のペースで仕事ができる」、「自分で仕事の順番・やり方を決めることができる」、「職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる」の3つの設問から構成されており、仕事の裁量権や自律的に仕事ができている程度を測っています。



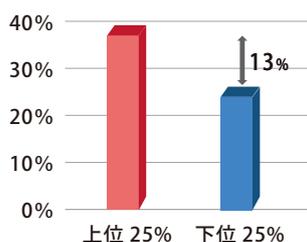
仕事のコントロール度は営業成績にプラスの影響がみられます。図7-1は、2019年度の仕事のコントロール度のスコアが上位25%、下位25%の営業拠点を抽出し、当年度の営業目標の達成状況を比較したものです。上位25%に属する営業拠点の方が営業目標の達成率（達成するかしないか）が高いことが示されています。

また、仕事のコントロール度は仕事の量的負担感とも関係します。図7-2では2019年度の仕事のコントロール度のスコアが上位25%、下位25%の営業拠点の「心理的な仕事の量的負担感」（ストレスチェックのサブカテゴリー）を比較しています。仕事のコントロール度が高い職場は低い職場よりも、心理的な仕事の量的負担感が有意に低いという結果がでました。

仕事のコントロール度が高いと営業成績が良くなる、仕事の量的負担感が抑えられるという今回の分析の結果から、裁量権があり自律的に仕事ができる環境は生産性を高める重要な要素と思われます。

【図7-1】

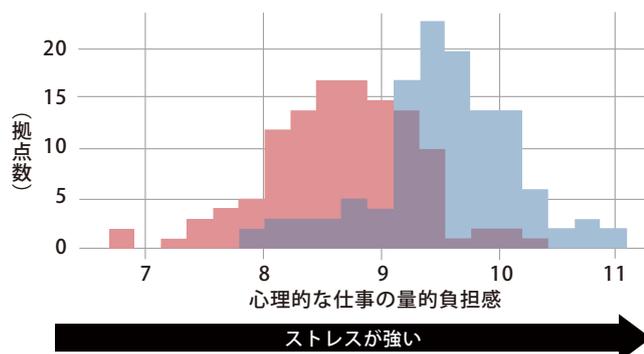
仕事のコントロール度と営業目標の達成率の関係
(2019年度)



(n=476) ※上位群と下位群の目標達成拠点の割合には統計的な差がある。(有意水準5%のカイ二乗検定を実施)

【図7-2】

仕事のコントロール度が高い職場と低い職場の心理的な仕事の量的負担感の比較(2019年度)



(n=476) ■ 仕事のコントロール度 上位 25%
■ 仕事のコントロール度 下位 25%

※上位群と下位群では心理的な仕事の量的負担感の平均値に統計的な差がある。(有意水準1%のウェルチのt検定を実施)

データ分析を通じて人的資本経営を加速する Vol.1 ー生産性が高い組織や個人の特徴ー

発行年月 2023年7月

発行者 SOMPOインスティテュート・プラス株式会社

編集 生産性に関する研究会 事務局

事務局 SOMPOインスティテュート・プラス株式会社

メンバー

久司 敏史 取締役研究部長 兼 主席研究員
宮地 裕太郎 統括首席研究員(事務局リーダー)
田上 明日香 首席研究員
丸山 勇治 主任研究員
林 勝己 主任研究員
大島 由佳 主任研究員
藤沢 美穂 副主任研究員

当社HPへのアクセスはこちらから



本資料は、情報提供を目的に作成しています。正確な情報を掲載するよう努めていますが、情報の正確性について保証するものではありません。本資料の情報に起因して生じたいかなるトラブル、損失、損害についても、当社および情報提供者は一切の責任を負いません。